

日 時	令和5年12月27日(水) 14:00~14:25 第24回経営会議
出席者	平原副市長、城副市長、伊地知副市長、大久保副市長、技監、政策局長、総務局長、財政局長、温暖化対策統括本部長、市民局長、中区长
欠席者	なし
議 題	根岸住宅地区における事業推進について【政策局】
議 事 要 旨	<p><b>【論点】</b></p> <p>○土地区画整理事業の検討について 返還後、一日も早い土地利用と地権者の生活再建を図るために、市施行による土地区画整理事業の実施を前提に検討・調査を実施していく。</p> <p>○市大医学部・病院等再整備について 市大医学部・病院等の再整備事業について、根岸住宅地区を移転先の最有力候補地として、具体的な課題等を検討してきた結果、浦舟地区で病院を統合し、根岸住宅地区に医学部施設を整備する新プランを進める。</p> <p><b>【説明要旨】</b></p> <p>○土地区画整理事業の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・返還・引渡しの時期、現状回復作業に関連する土壌汚染、存置物等の撤去など、国との調整を円滑に進めながら事業化に必要な手続きを行うことは市以外では困難である。</li> <li>・今後、土地利用計画(素案)の策定等とともに、事業性の確認を行い、地権者の事業実施への合意形成を図りながら、土地区画整理事業に必要な手続きを進める。</li> <li>・現段階では、土地区画整理事業の事業費は保留地処分金で賄う予定のため、本市の財政負担は無いことを想定している。</li> </ul> <p>○市大医学部・病院等再整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「再整備構想(令和3年3月策定)」において、道路改良や交通アクセス、土地購入費、返還スケジュールなどが課題とされていた。</li> <li>・令和5年6月の「市・市大ワーキングボード」で、救急車両運行の課題、患者や家族及び病院関係者等の利便性確保等への配慮、高騰する事業費への対応などの観点から、整備場所等について多角的に検討することとした。</li> <li>・検討の結果、救急車両のアクセスの確保が可能となり、かつ患者や病院医療者の利便性が高い等のメリットがある浦舟地区において、病院を統合・整備し、根岸住宅地区に医学部施設を整備する新プランを進めていく。</li> </ul> <p><b>【主な意見等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市大医学部・病院等再整備については、整備規模・要件・手法・想定事業費・市と法人との費用負担割合や、福浦地区の跡地利活用方針についても検討し、財政局とも協議のうえで進めること。</li> <li>・再整備に係る基本計画の策定にあたっては、PFI等を用いた整備手法を前</li> </ul>

提として、あらゆる市費負担の軽減策、平準化等を検討し、それらを踏まえた適切なスケジュールとなるよう関係機関と調整すること。

- ・根岸住宅地区（文教ゾーン）の取得用地の縮小により、再整備に係る全体事業費の縮減が見込まれるとのことだが、縮小によって生じる、文教ゾーンの市大医学部以外の用地についても有効に活用できるよう検討すること。

**【結論】**

主な意見を踏まえつつ、局案の方向性について了承。